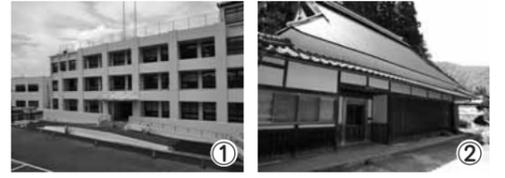


何に使っているの？ 183億 8102万円

総務費 地域活性化の支援などに 25億9386万円

庁舎耐震改修=写真①▽いきいき地域づくり事業▽Uターン者定住支援住宅整備▽空き家活用定住支援=写真②▽婚活支援



総務費 14.1%

議会費 1.0% 議会の運営に 1億8849万円

民生費 福祉・医療に54億580万円

子育て支援医療費▽地域福祉計画策定▽臨時福祉給付金支給▽子育て臨時特例給付金支給▽福祉バス整備=写真③

労働費 0.4%

雇用対策に 7720万円
緊急雇用創出事業▽就職フェア開催=写真⑤

商工費 商業・観光振興に3億7867万円

都市交流拠点施設整備=写真⑦▽工場用地・物流用地適地調査▽海フェスタ京都開催▽観光施設案内サイン整備

消防費 消防・防災に8億8579万円

防災行政デジタル無線屋外拡声子局整備▽地域防災計画見直し▽原子力災害対策施設整備▽消防緊急通信指令システム更新=写真⑨

表2 平成26年度会計別決算

区分	歳入総額	歳出総額	
一般会計	185億2,659万円	183億8,102万円	
特別会計	市立診療所等	3,930万円	3,930万円
	農林業者労働災害共済	434万円	434万円
	国民健康保険	39億6,457万円	39億6,316万円
	介護保険	43億7,220万円	43億5,612万円
	後期高齢者医療	5億3,318万円	5億2,308万円
	駐車場	2,510万円	2,510万円
	簡易水道	8億4,385万円	8億4,385万円
	下水道事業	16億2,287万円	15億9,525万円
	地域排水事業	9億4,655万円	9億4,042万円
	住宅・工業団地事業	1億2,116万円	1億2,116万円
区分	事業収益	事業費用	
公営企業会計	上水道事業	9億7,123万円	7億9,463万円
	病院事業	59億8,429万円	60億1,341万円

※文中・表中ともに1万円未満四捨五入

民生費 29.4%

衛生費 10.9%

農林水産業費 5.0%

商工費 2.1%

土木費 7.7%

消防費 4.8%

教育費 11.5%

災害復旧費 3.7%

公債費 9.4%

衛生費 環境整備・健康づくりに 20億655万円

衛生公苑改修▽不妊治療給付事業▽あやちゃん健康ポイント▽2歳児歯とことばの検診▽ぶくぶくひろば事業=写真④

農林水産業費 農林業の振興に 9億1930万円

林業戦略会議開催▽野生鳥獣被害総合対策=写真⑥▽農業施設改修

土木費 道路、公園などの整備に 14億1540万円

道路整備▽青野豊里線整備▽都市計画道路見直し▽紫水ヶ丘公園整備=写真⑧

教育費 学校や幼稚園、生涯学習に 21億1008万円

上林小学校・中学校改築=写真⑩▽東綾中学校改築▽総合運動公園遠的弓道場整備=写真⑪▽小・中学校、幼稚園空調設備整備



災害復旧費 災害による被害の復旧に 6億6916万円

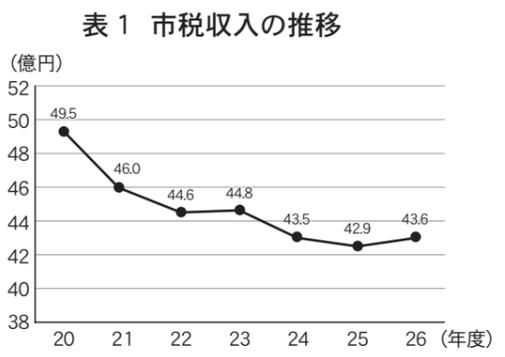
農林・公共土木施設の災害復旧

公債費 借入金の返済に 17億3070万円



住みたくなる綾部 実現に向け 積極的、効率的に 施策展開

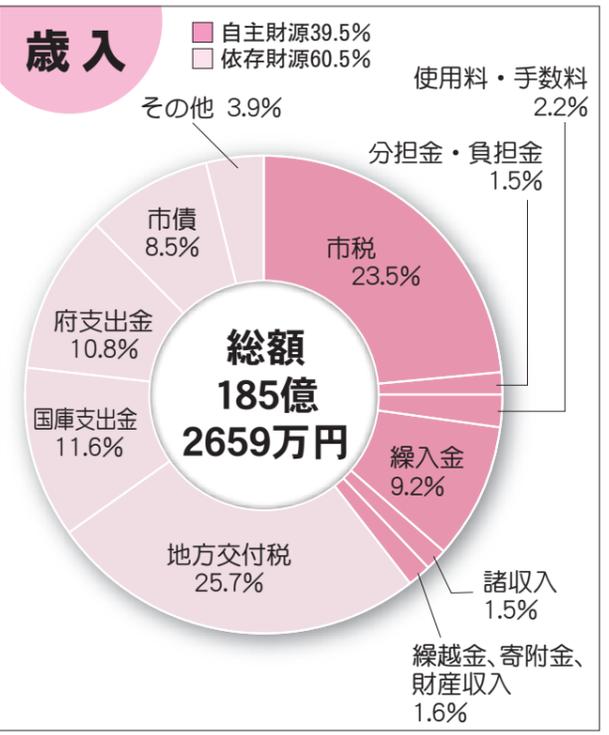
市の平成26年度各会計別決算案が9月定例会市議会で認定されました。一般会計は、歳入185億2659万円、歳出183億8102万円。翌年度に繰り越す財源1億4396万円を差し引いた実質収支は161万円で、43年連続で黒字を確保しました。



歳出増も黒字を継続 一般会計の歳出は、昨年度重なる豪雨災害の復旧や上林小・中学校新校舎の建設などで、前年度と比較して6億401万円(3.4%)増額となりました。一方で歳入も自主財源の要である市税収入Ⅱ表1Ⅱが、法人市民税や固定資産税の増などにより、前年度と比較して6944万円(1.6%)の増額。さらに、第5次綾部市総合計画の着実な推進や施策の効率的な執行などにより、43年連続で黒字となりました。

安全・安心を優先的に 昨年度は府内初となる防災基本条例の制定や豪雨災害の早期復旧を優先的に実施したほか、国の経済対策を有効に活用し、消防緊急通信指令システムの更新や学校・公共施設の耐震化を行うなど、「安全・安心」の施策を進めました。また、人口減少や少子高齢化の課題解決に向けた定住施策を重点的に推進。空き家改修などの支援制度や定住支援住宅整備、婚活支援など、「住みたくなる綾部実現」に

借金(市債)2年ぶりに減少 市の借金(市債)残高は、国の経済対策交付金の活用や、



特別会計すべて黒字 特別会計10会計は、歳入総額124億7311万円、歳出総額124億1178万円でした。実質収支は、2759万円の黒字。10会計すべてで黒字決算または収支ゼロとなりました。公営企業会計のうち、上水道事業会計は32年連続で黒字。病院事業会計は病院整備工事の間、利用病床数が減ったことなどにより23年ぶりに赤字となりました。今後、経営の改善に努めます。詳しくは、財政課(42)4216へ。